



News

博報堂 広報室
HAKUHODO
Corporate Public Relations Division
tel:03-6441-6161 fax:03-6441-6166
www.hakuhodo.co.jp

2010年4月1日

博報堂 2010 年度入社式

博報堂は4月1日(水)午前10時、港区赤坂の本社に新卒採用者87名を迎え、成田純治社長以下役員及び部門長が出席して、2010年度入社式を行いました。新入社員が一人ひとり紹介された後、成田社長が歓迎と激励の祝辞を贈り、式を終了いたしました。

成田社長の祝辞の趣旨は以下の通りです。

本日、私達は87名の無限の可能性を持った皆さんを、新しい仲間として迎えることになりました。会社を代表して、心より歓迎致します。アクティブでエネルギーに満ち溢れた若者がこの博報堂の仲間となることに対して強い期待を抱いております。自信をもって、素直に真っ直ぐに成長して行ってほしいと思います。

さて、これから博報堂で仕事を始める皆さんに2つのお願いをしたいと思います。

まず一つ目は、「若さ」を大いに活かしていただきたい、ということです。

各種報道では、最近の若者は妙に周りの空気を読んで、あまり出しゃばらず、目立たないようにする傾向が強いと聞きます。

しかしながら博報堂の仕事の性格からすると、いい子ぶらずに、ぜひ目立っていただきたいと思います。博報堂は、自由に仕事ができる風土があります。自由闊達に、若者らしく大いに暴れていただきたいと思います。

広告業界は非常に厳しい環境にあり、また広告そのもののフレームが大きく変わろうとして



読みやすさを追求した書体を使用

いる中、博報堂という会社に、皆さんの「若さ」という新しい息吹を入れていただければ、私としても非常に嬉しい限りです。今までの私の感覚からすると、新入社員の時に、何をしでかさかわからない、ヒヤヒヤするような個性を持った人ほど、会社に対していろいろな意味でいい仕事をしていただけているという気がします。社会人としての常識の枠を踏み越えてしまっ
てはいけませんが、皆さんで刺激をし合って、楽しく仕事をしていただきたいと思います。

お客様先やメディアの変化に伴って、私たち広告会社も大きく変貌を遂げようとしています。そして、デジタル化やグローバル化への対応は、喫緊の課題であることは言うまでもありません。会社としても、皆さんの成長を促す機会をどんどん作っていきたいと思っています。皆さん一人ひとりが博報堂の財産です。その「若さ」を武器に、ぜひ暴れまくって下さい。

もう一つのお願いは、「アナログ」なコミュニケーションを大切にしたい、ということです。簡単に言えば、できる限り直接、面と向かって会話をして欲しいと思います。

仕事の領域はどんどん「デジタル」化が進む一方ですが、仕事の進め方において、「アナログ」なコミュニケーションの重要性はいつまでも変わることのないところだと思います。皆さんの世代ですと、若いころからネットやメールに慣れ親しんでいるのではないかと思います。やはり最後は、人と人との「アナログ」なコミュニケーションによって生まれる「信用」「信頼」「誠意」が、ビジネスにおいては極めて重要になってきます。そしてそれはお客様先に対してだけ言えることではなく、一緒に仕事をする仲間にも言えることです。博報堂の伝統的な強みであるチームワーク力はそうしたアナログのコミュニケーションを積み重ねることで醸成されていくものだと思います。

皆さんには1日も早く会社に慣れていただき、是非、若い才能、体力、実行力を活かして、たくさんの人や仕事に出会って、感動してもらいたいと思います。

あらためて申し上げます。

博報堂は、人が資産の会社です。一人ひとりの社員が生み出す価値が、博報堂の価値となります。私たちも全力を尽くして博報堂の経営を行ってまいりますので、皆さんも共に博報堂の



読みやすさを追求した書体を使用

未来を、力強く切り拓いていきましょう。

2010年4月1日

株式会社博報堂

広報室



読みやすさを追求した書体を使用